

# 加賀市 自治体新電力への挑戦

～加賀市版RE100を目指して～

石川県加賀市

# 加賀市のご紹介

## 加賀市の位置

石川県の南西部に位置、  
北東部は小松市、南西部は福井県に隣接  
面積 約306km<sup>2</sup> 人口 約6万7千人

## 加賀市の自然

海岸線は**越前加賀海岸国定公園**に指定されている。(16.5km)  
福井との県境にある大日山(標高1,368m)に連なる山々は  
**山中・大日山石川県立自然公園**に指定されている。

## 加賀市の産業

主な産業 機械製造業、観光産業  
特に観光産業では、**片山津温泉、山代温泉、山中温泉**と3つの温泉地を有し  
年間の入込客数は約200万人という全国有数の温泉郷



# 加賀温泉郷



## 山中温泉♨️



## 片山津温泉♨️



## 山代温泉♨️



# 取組みの背景

## 共通の課題

- ・ 記録的な豪雪、頻発する豪雨
  - ・ 猛暑ならびに度重なる台風
- 異常気象 地球温暖化

### 加賀市の取り組みとして

#### 「世界首長誓約/日本」

- 持続可能で強靱な地域づくり
- ・ 持続可能エネルギーの推進
  - ・ 温室効果ガスの削減
  - ・ 気候変動の影響への適応

## 加賀市の抱える課題

- 人口減少  
石川県金沢以南で唯一の消滅可能性都市  
→市の活力低下
- 少子高齢社会
- 資金の市外流出  
市内の電気料金だけでも年間約100億円が加賀市から流出
- 再エネ導入の遅れ  
ポテンシャルは低い
- インフラ老朽化



・・・加賀市の20年後の「不安」・・・

# 加賀市版RE100

## 地域内経済循環を目指す『加賀市版RE100』

公共分野、民生分野を問わず、加賀市内におけるエネルギー需要（地消）を100%地域で生産した（地産）再生可能エネルギーで賄うことを目指す。加賀市再エネ100%の実現により、エネルギーの完全な自給自足ができる強靱な地域社会を作り上げるとともに、地域内経済循環の実現による地域経済の活性化を図る。

それぞれの課題の解決に向け

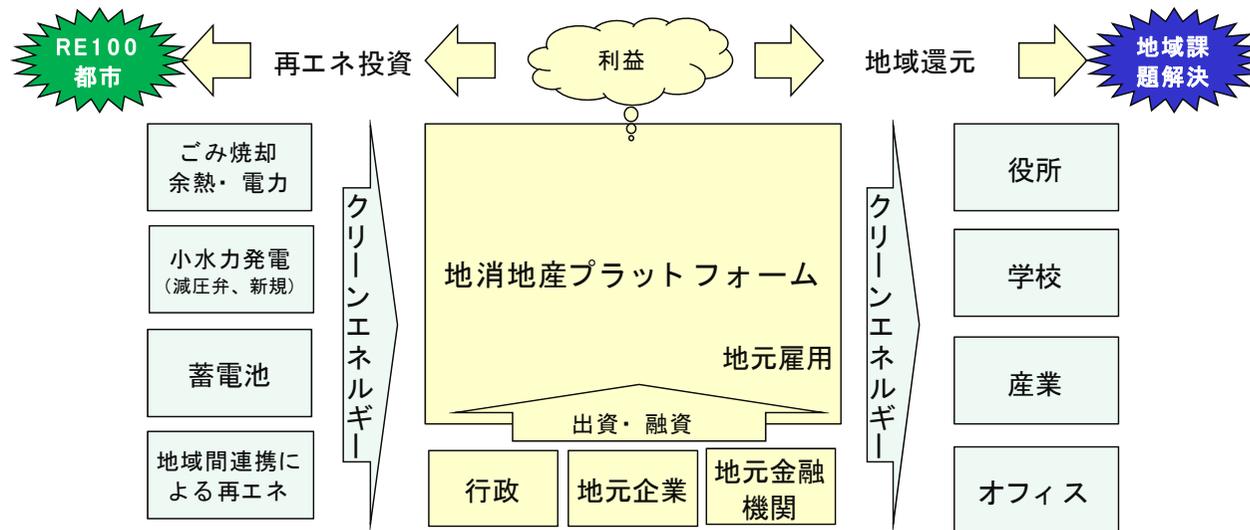
『加賀市版RE100』の実現に向けて「自治体新電力」に取り組む。



事業は「加賀市総合サービス(株)」が行う

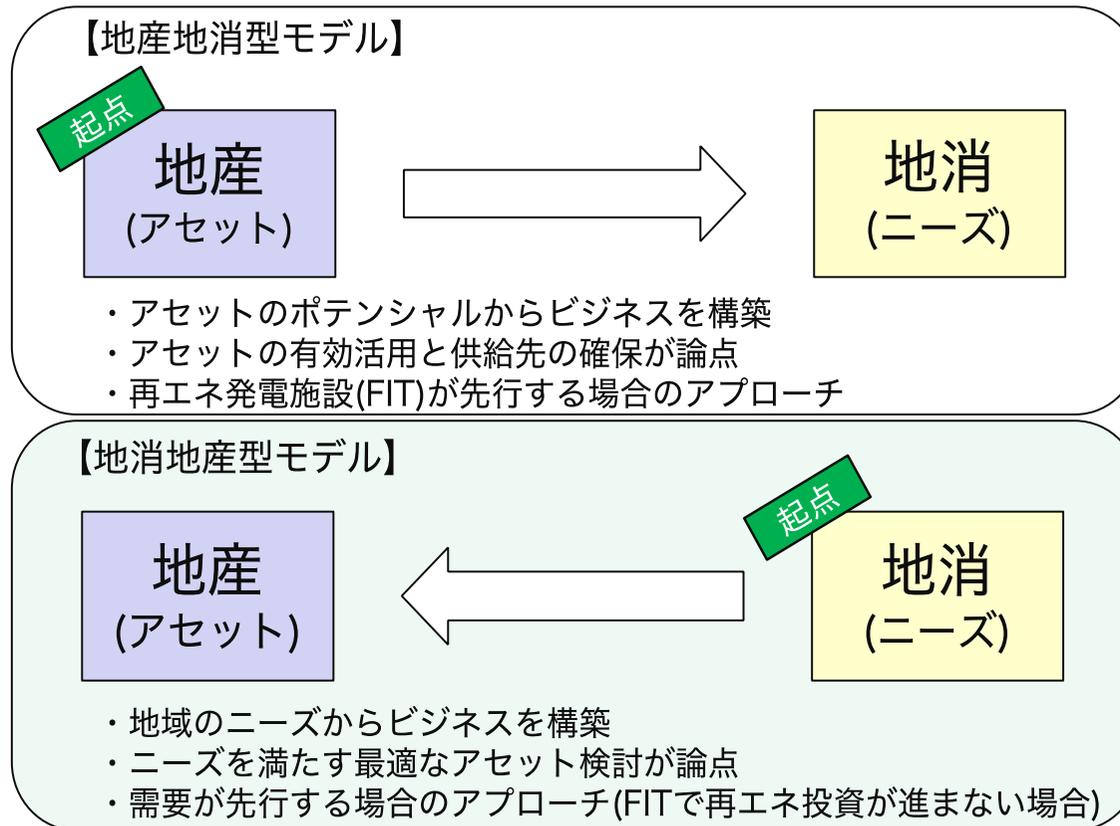
# 事業のイメージ①

## ビジネスモデルのイメージ



# 事業のイメージ②

## アプローチ



# 事業概要

地域資源である再エネを活用した「地消・地産プラットフォーム」（新電力事業）を構築し、地域課題に応えながらRE100を目指す。（地域課題を解決する「地消・地産」プラットフォームの構築、再生可能エネルギー開発の検討）

「地消・地産プラットフォーム」は、加賀市100%出資の加賀市総合サービスが行う。

## 【加賀市総合サービス(株)】

行政サービスの補完団体として新しい公共空間の実現を目指し、平成18年設立（事業開始 平成19年4月）

### 主な業務

- ・ 公共施設の指定管理…加賀市美術館、中谷宇吉郎雪の科学館 等
- ・ 公共事務等の業務受託…学校・保育園給食調理業務・医療費助成等窓口業務 等
- ・ 労働者派遣…学校・保育園給食調理業務・行政事務支援サービス 等
- ・ **電力事業（平成31年4月～）**

# 加賀市との協定 調印式

平成31年1月17日(木) 記者会見 (@加賀市役所)

自治体新電力事業に関する協定を締結。調印式。この様子は地元メディアにて広く紹介された。

弊社は、加賀市が取り組む加賀市版RE100の実現に向けて、「地域内経済循環」のポリシーに基づき、新規に電力事業に参入し、「地消・地産」の基盤をつくり、再生可能エネルギー100%を目指し、市内の再生エネルギーを増やすために投資するとともに、持続可能な経済・社会づくりに貢献していきます。

**北國新聞 (2019年1月18日)**

加賀市、北陸初の「自治体新電力」  
4月開始、再生エネを活用



**北陸中日新聞 (2019年1月18日)**

加賀市 新電力参入へ 北陸初  
当面、公共施設に供給 再生エネで「自給自足」視野



宮元陸市長 (左) と大和徳泰社長 (右)

# 事業計画

## 【事業方針：平成31年4月～】

市の公共施設に対する電力供給のみを実施。収益性をチェックしながら経営の安定化を図る。なお、市の公共施設（高圧）の年間電力需要はおおむね25GWh

### ●調達方針

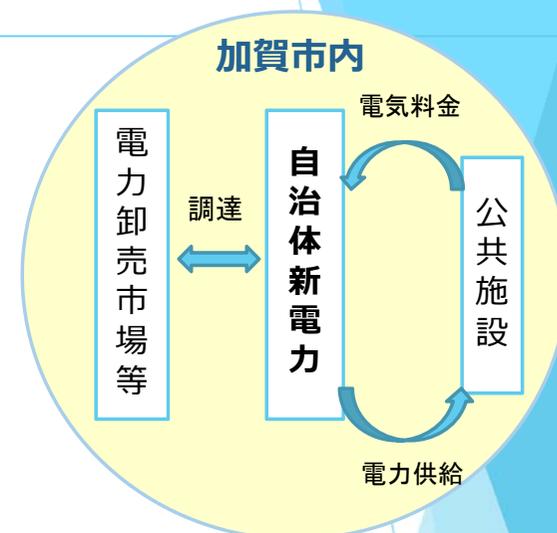
日本卸電力取引所などから調達する予定

### ●運営主体

加賀市総合サービス(株)の電力部門

### ●事業開始日

平成31年4月1日



## 【事業方針：目指す姿】

市の公共施設だけでなく、民間事業者、一般家庭を含めた電力供給を目指す。また、電力事業で得た利益については、地域資源である市内の再生可能エネルギー発電事業へ投資することによって、自前で発電できる体制の構築を目指す。

### ●調達方針

再生可能エネルギー100%

### ●運営主体

民需部門への電力供給のため、加賀市総合サービスの電力事業部門を含む、市内の民間企業や各種団体と連携した共同体制なども検討する。

